

事業所名

児童発達支援・放課後等デイサービスちあふる

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025年

2月

24日

法人（事業所）理念		子どもたちの得意を伸ばす、安心できる居場所づくり、共生社会の実現					
支援方針		こころとからだに働きかける多彩なソーシャルスキルトレーニングで子どもたちの得意を伸ばします。子どもたちや保護者様との信頼形成を重視し、誰もが心地よさを感じ、安心できる居場所づくりを行います。子どもたち一人一人の人格、多様性を尊重し、認め合い、支え合うことができる社会の実現を目指します。					
営業時間		10時	0分から	13時	0分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	体調の管理を行い、来所して、検温・手洗い・うがいを、繰り返し行う事で、体調の安定を計り、日常生活動作の習得に向けて支援します。					
	運動・感覚	利用児童の特性や発達段階に応じた体の動かし方を学び、実際に動かし、出来たという経験を丁寧に積んでいきます。その成功体験を積み重ねて体を動かす意欲を引き出し、体力や運動機能の向上を図ります。 様々な感覚・運動・遊びを経験し姿勢保持や手足の協調運動を促します。					
	認知・行動	様々な遊びや経験を通して、感触や感覚を感じてもらい繰り返し行う事で、興味・関心が持てる様に支援していきます。活動への取りくみに意欲的な気持ちになり、苦手な事でも行って良かったと思えるように支援者が仲立ちし、声かけを行っていきます。					
	言語コミュニケーション	様々な表情、動作、発声の仕方を見たり、聞いたりと感じて、自分の気持ちを相手に伝えられる様に支援していきます。また相手に投げかけられた時に、その気持ちを受け止め、共感したり、自分の意見を言える様に支援していきます。					
	人間関係社会性	職員とふれあい、沢山話す事で信頼関係を築き、その中で対人意識を広げていき、相手にも気持ちがある事に気が付いて行く様に支援します。また、その相手の気持ちに気が付ける様になり、就学時の沢山の友達との交流が図れるように支援者が支援していきます。					
家族支援		利用児童の家庭での様子を聞いたり、事業所での様子を丁寧に伝えて情報共有しながらご家族様の困り事への助言をしていきます。		移行支援		利用児童の様子をご家族様と相談し、移行を進めていきます。	
地域支援・地域連携		将来に向けて困りごとを予測しながら、関係機関との情報共有や情報の提供を必要に応じて行っていきます。		職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・情報共有し、支援について話し合う時間を設けている。 ・支援プログラムをチームで立案し、準備、実行、振り返りを行っている。 	
主な行事等		季節に応じた制作や行事、毎月のお誕生会、外食体験、買い物体験やクッキング、ご家族様参加イベントの実施					